

スポーツ現場実習Ⅲ

科目ナンバリング SPS-408
選択 1単位

山本 明秀

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーの活動であるスポーツコンディショニングやアスレックリハビリテーション、トレーニング指導などを実際のスポーツ現場で行えるよう実習を行う。
特にこの授業では、実習現場で専門的な知識や技術(トレーナーに必要な知識、技術、適切な評価)、ATの役割を理解し、それに準じた知識(解剖やスポーツ傷害など)・技術(救急処置やテーピング)を理解し、適切に実践できることを目的とし、各論では主にスポーツコンディショニングと救急処置の実習を行う。
※2年生のスポーツ現場実習Ⅰを修得していること、春休みに開催される報告会への参加を単位認定の条件とする。

2. 授業の到達目標

- ・解剖学の知識を習得し、現場でいかされているか
- ・スポーツ傷害の知識を習得し、評価を適切に行えているか
- ・救急処置の知識を習得し、現場でいかされているか、また、EAP作成やシミュレーションを行い、有事に対して、準備を行っているか
- ・テーピングを適切に実践できているか
- ・評価に必要な、スペシャルテストやROM、MMT等の知識、技術を習得し、行えているか

3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動(50%) レポート(25%) 報告会発表(25%)

4. 教科書・参考文献

教科書

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割』
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング』
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧救急処置』

5. 準備学修の内容

参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて事前学習しておくこと。スポーツ現場に入る前に、現場実習のルールやマナー、心構えなどについて再確認しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

スポーツ現場に入る前に参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて学習し、実習に意欲的に取り組むこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスほか
- 【第2回】 筋力トレーニングについて
- 【第3回】 スタビリティトレーニングについて アジリティトレーニングについて
- 【第4回】 サーキットトレーニングについて
- 【第5回】 傷害予防のコンディショニングについて ストレッチング
- 【第6回】 傷害予防のコンディショニングについて テーピング
- 【第7回】 疲労回復を目的としたコンディショニングについて
- 【第8回】 ウォーミングアップとクーリングダウンについて
- 【第9回】 フィットネスチェックについて
- 【第10回】 救急処置の実際
- 【第11回】 スポーツ現場における緊急対応計画の作成
- 【第12回】 外傷時の救急処置
- 【第13回】 緊急時の救急処置 心肺蘇生法
- 【第14回】 救急処置 搬送法など
- 【第15回】 発表と総評

それぞれ現場での実習を行いながら学んでいく